



『福岡市の観光・MICE』2019年版
(福岡市観光統計)



調査方法・用語の定義

1 入込観光客数

- (1) 交通手段別の年間降客者数を把握する。
- (2) (1)の数に入込観光客率を乗じて、交通手段別の入込観光客数を算出する。
 - ※ 入込観光客率は過去の福岡市観光客動態調査の結果をもとに、過去の傾向等を勘案して算出している。

2 宿泊観光客数

- (1) 観光庁の「宿泊旅行統計調査」の結果を利用し、宿泊客数を把握する。
- (2) (1)の数に宿泊観光客率を乗じて、宿泊観光客数を算出する。
 - ※ 宿泊観光客率は過去の福岡市観光客動態調査の結果をもとに、過去の傾向等を勘案して算出している。

3 外国人宿泊客数

- (1) 観光庁の「宿泊旅行統計調査」の結果を利用し、宿泊客数を把握する。

【用語の定義】

- 観光・・・名所・旧跡めぐり、ショッピング、食、スポーツ観戦、コンサート、テーマパーク、ヘルスツーリズムなど
- 観光客・・・上記の観光目的で旅行している人及び仕事（社用、公用、商用、会議、研修など）兼観光、家事（帰省、医療、冠婚葬祭など）兼観光の目的で旅行している人
- 訪日外国人旅行者・・・訪日外国人旅行者とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外国人旅行者に含まれるが、当該旅行者数に乗員上陸数（特例上陸許可）は含まれない。

※ 前年比や構成比は、四捨五入の関係で掲載数値の比と異なる場合がある。

※ 出典

- ・ 日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数」
- ・ 観光庁「訪日外国人消費動向調査」
- ・ 法務省「出入国管理統計」
- ・ 観光庁「平成26年訪日外国人観光客の地方訪問状況」
- ・ 日本政府観光局（JNTO）「国際会議統計」
- ・ （一財）福岡コンベンションセンター「福岡市のコンベンションゾーンにおける経済波及効果等調査」2016年3月
- ・ 観光庁「宿泊旅行統計調査」
- ・ 株式会社NTTアド（地図：NTT空間情報株式会社）
- ・ 株式会社NTTB P
- ・ 観光庁「旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究」（2018年3月）
- ・ 中小企業庁「平成28年度商店街インバウンド実態調査」

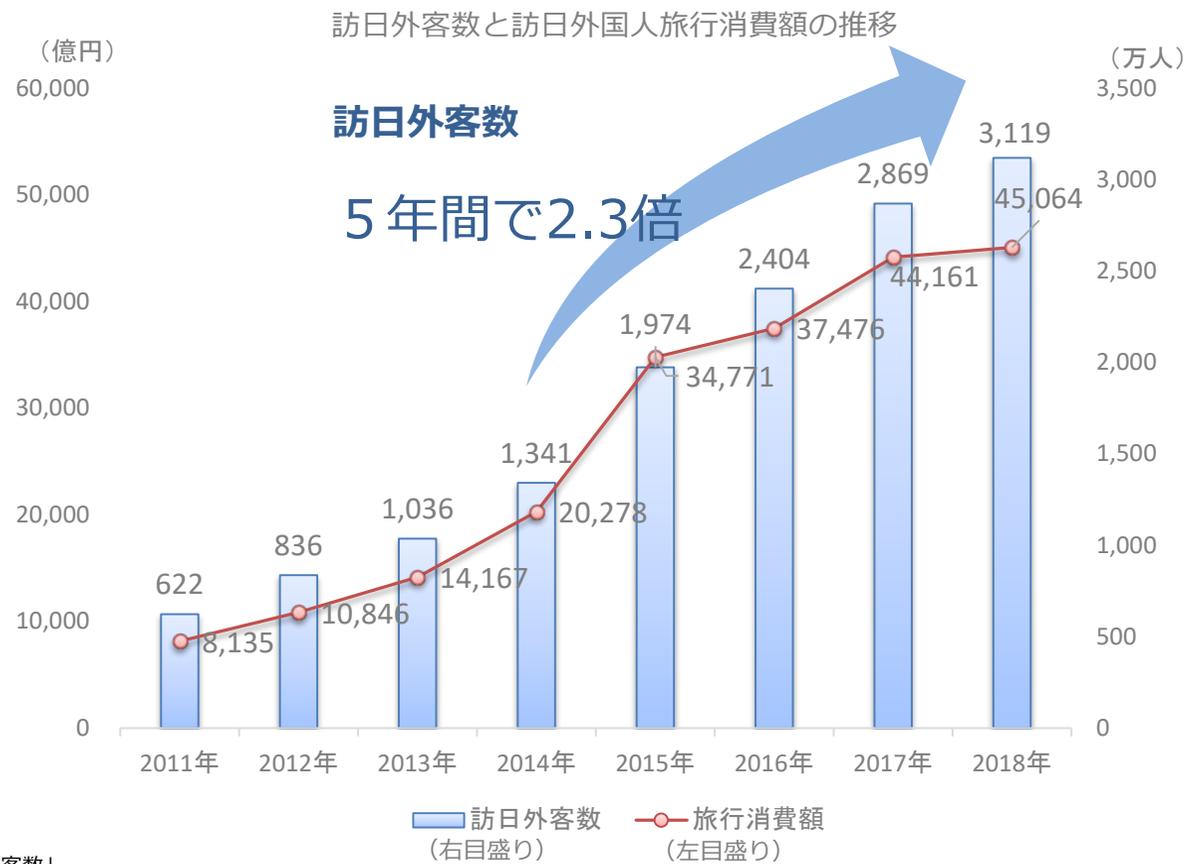
目次

1	訪日外国人旅行者数及び訪日外国人旅行消費額の推移	3
2	福岡市の外国人入国者数の推移	4
3	日本全体（訪日外国人旅行者）と福岡市（外国人入国者）の国籍別訪問割合比較	5
4	訪日外国人等の動向（地方への訪問状況等）	6
5	福岡市における国際会議等の状況	8
	福岡市におけるコンベンションの波及効果	10
6	福岡市におけるクルーズの状況	11
7	宿泊の状況	12
8	福岡市における入込観光客数の推移	16
	市内の主要な観光施設の入込状況	17
9	福岡市の観光消費額と経済波及効果	18
参考-1	【全国ベースによる考察】観光消費がもたらす他産業への経済波及効果	19
参考-2	【全国比較による考察】商店街を訪れる外国人の状況	20

1 訪日外国人旅行者数及び訪日外国人旅行消費額の推移

- 訪日外国人旅行者数（2018年）：約3,119万人
- ※ 福岡市における外国人入国者数：約309.4万人（国の約10%）
- 訪日外国人旅行消費額（2018年）：約4兆5,064億円

※ 訪日外国人旅行者とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外国人旅行者に含まれる。なお、左記訪日外国人旅行者数には、乗員上陸数（特例上陸許可）は含まれない。



資料：日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数」
：観光庁「訪日外国人消費動向調査」

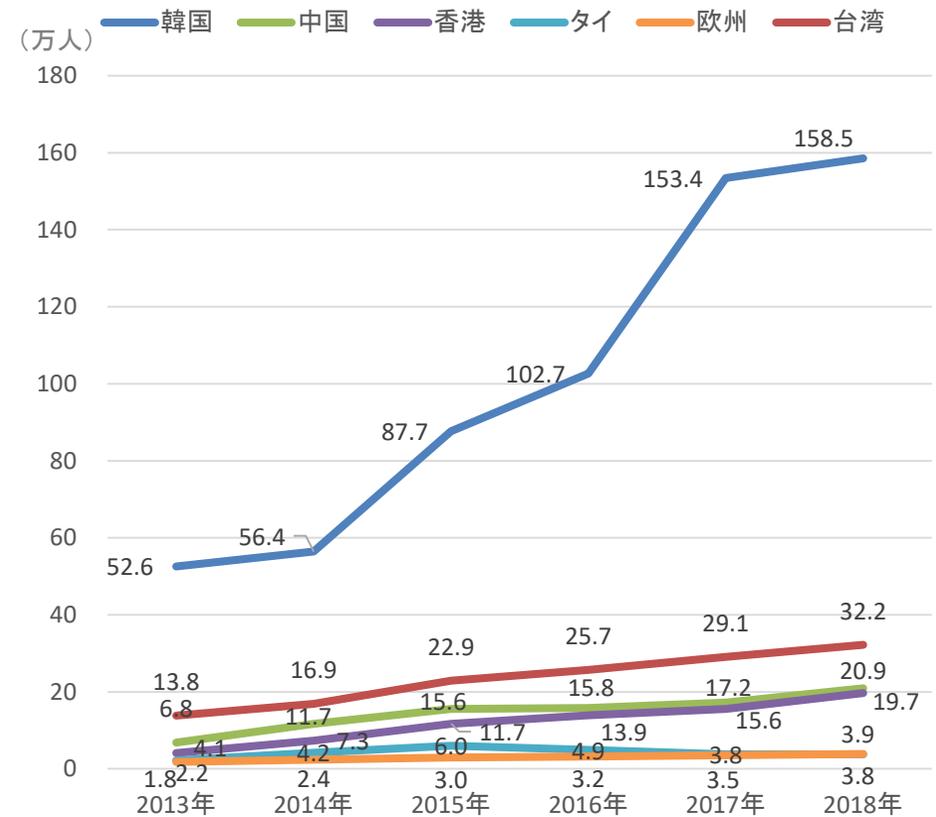
2 福岡市の外国人入国者数の推移

- 入国者数5年間で **2.6倍** 120.1万人 (2014年) → 309.4万人 (2018年)
- 韓国人の入国者は5年間で **2.8倍** 56.4万人 (2014年) → 158.5万人 (2018年)

福岡空港及び博多港からの外国人入国者数の推移



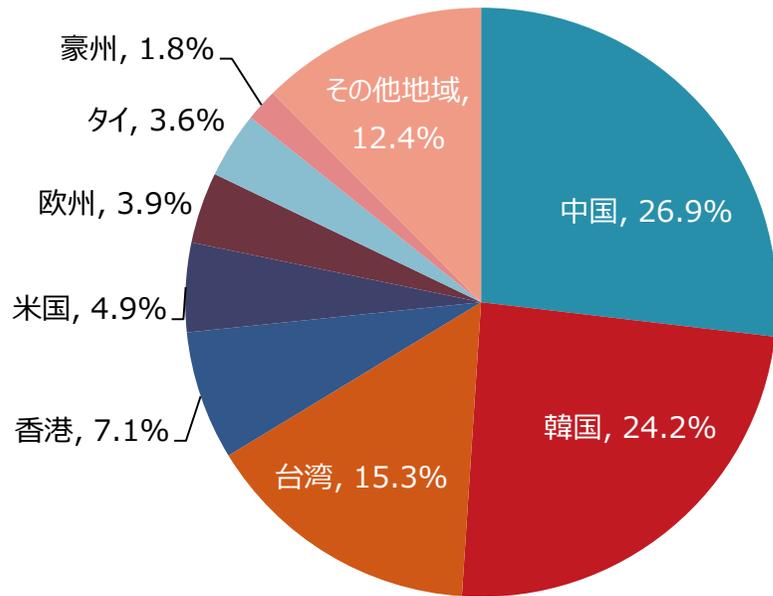
主な国籍別福岡市への入国推移



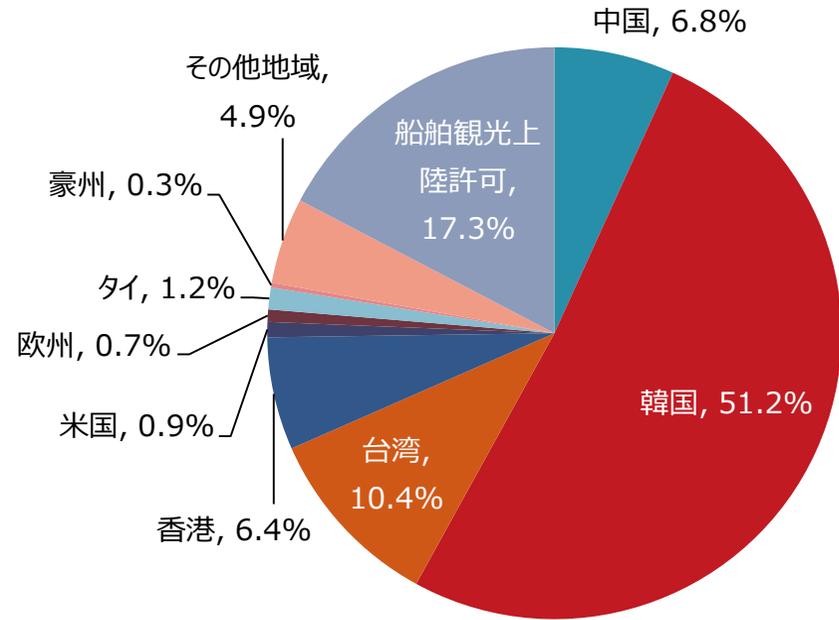
3 日本全体（訪日外国人旅行者）と福岡市（外国人入国者）の国籍別訪問割合比較

- 日本全体では**中国**からの訪問割合（**26.9%**）が最も高い。
- 福岡市では**韓国**からの訪問割合（**51.2%**）が過半数。
- 日本と福岡を比較すると**欧米豪の市場に違いがみられる**。

日本における訪日外客の割合（2018年推計値）



福岡における外国人入国者の割合（2018年速報値）

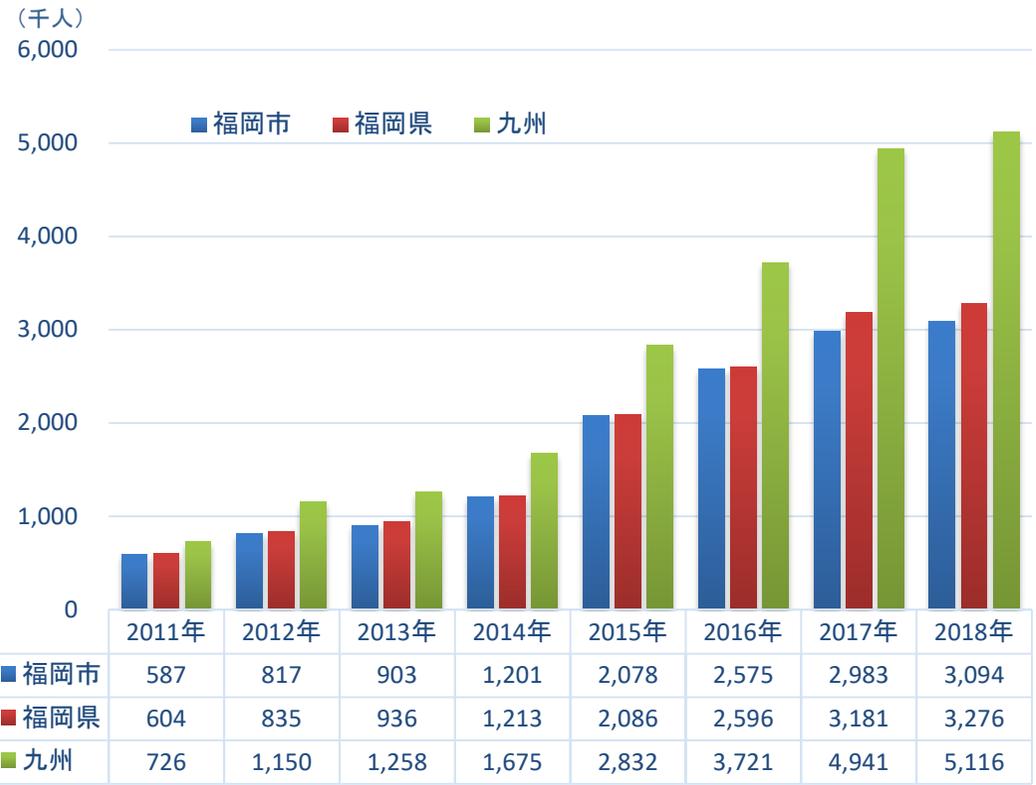


資料：日本政府観光局（JNTO）「訪日外客数（2018年年間推計値）」
：法務省「出入国管理統計」

4-1 訪日外国人等の動向（地方への訪問状況等）

- 九州全体に占める福岡市の割合 **60.5%**
- 福岡県内に占める福岡市の割合 **94.4%**

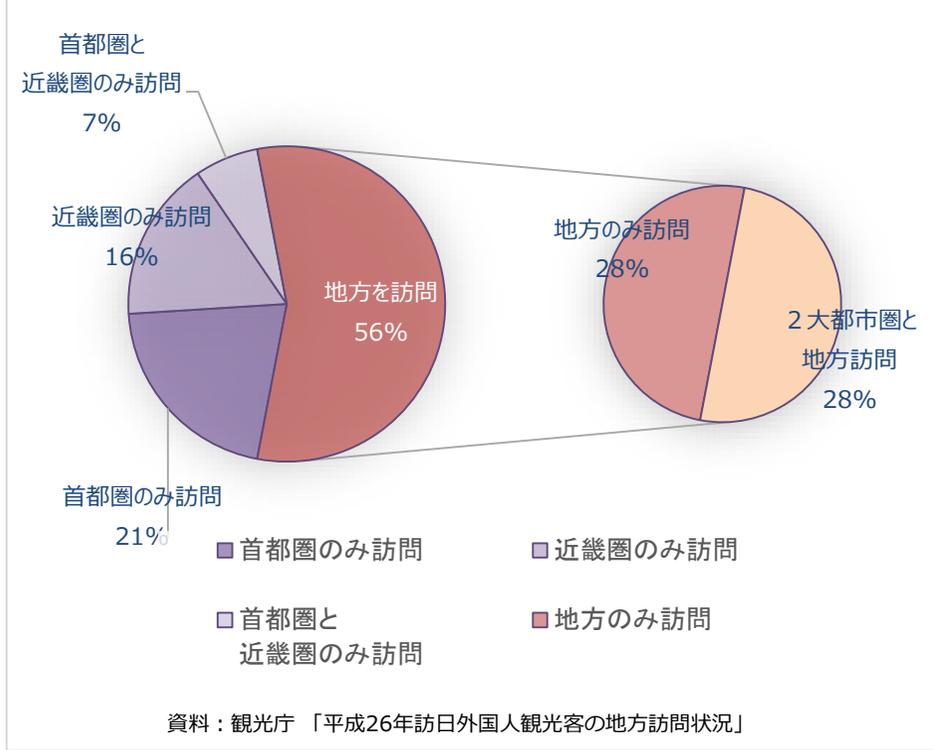
外国人入国者数の比較



※訪日外国人数：3,244万人（2018年）

資料：法務省「出入国管理統計」

【参考】訪日外国人の地方訪問率



4-2 訪日外国人等の動向（参考データ）

● 観光情報サイト「よかなび」の閲覧状況

- ・ スポット情報閲覧ランキング：言語別に特徴あり **東長寺（英語）、舞鶴公園（中国語繁体字） など**
- ・ 特集記事閲覧ランキング：言語別に特徴あり **能古島・志賀島（中国語繁体字で1位）、ムスリムフレンドリーレストラン（英語5位）**

● 福岡市観光案内ボランティアまち歩きコースの状況

- ・ 市内様々なエリアのコースを開発

観光情報サイト「よかなび」の閲覧状況

【スポット情報閲覧ランキング(2018年)】

順位	日本語	英語	韓国語	中国語(繁体字)	中国語(簡体字)
	スポット名	スポット名	スポット名	スポット名	スポット名
1	海の中道海浜公園	海の中道海浜公園	キャナルシティ博多	海の中道海浜公園	キャナルシティ博多
2	のこのしまアイランドパーク	天神地下街	シーサイドももち海浜公園	キャナルシティ博多	海の中道海浜公園
3	櫛田神社	櫛田神社	太宰府天満宮	櫛田神社	天神地下街
4	福岡タワー	東長寺	福岡タワー	天神地下街	太宰府天満宮
5	白糸の滝	JR博多シティ	博多ポートタワー	舞鶴公園	福岡タワー

福岡市観光案内ボランティアまち歩きコースの状況

【2017年度、2018年度コースより抜粋】

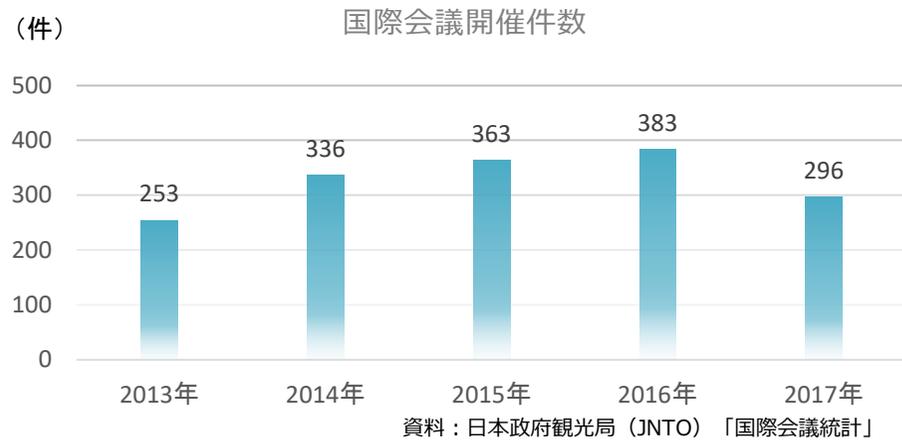
	案内先	ツアー名
東区	志賀島	歴史とロマンあふれる志賀島をめぐるまち歩き
	香椎宮周辺	勅使道から古の櫛田宮
博多区	諸岡・板付遺跡	古代ロマンまち歩き 諸岡・板付編
	南福岡駅～埋蔵文化センター	古代ロマンまち歩き 埋蔵文化財センター
	竹下駅～	古代ロマンまち歩き 那珂・比恵編
	住吉～美野島	海でつながっていた住吉と美野島
	ベイサイドプレイス博多周辺	博多ウォーターフロントまち歩き
	南福岡十日恵比須神社周辺	南福岡・雑餉隈まち歩き～南福岡十日恵比須大祭～
	博多旧市街	博多旧市街まち歩き（寺社巡りコース／伝統文化コース）
中央区	福岡城址	黒田家ゆかりの地まち歩き 築城の名手“黒田父子”の縄張りを歩く
	天神南～大名	黒田家ゆかりのまち歩き 堀川を歩き、福岡藩の町づくりに迫る
	天神地下街・新天町商店街	懐かしの天神を歩く
	平尾・桜坂	平尾山荘・松風園コース
南区	高宮・野間周辺	高宮・野間のぶらぶら今昔物語
早良区	福岡市総合図書館～勝鷹水神	サザエさんばまち歩き
	西新・百道地区	元寇防塁ツアー
西区	能古島	歴史ロマンと豊かな自然満喫コース

【特集記事閲覧ランキング(2018年)】

順位	日本語	英語	韓国語	中国語(繁体字)	中国語(簡体字)
	件名・場所等	件名・場所等	件名・場所等	件名・場所等	件名・場所等
1	能古島・志賀島	買い物スポット (天神・博多等)	もつ鍋・水炊き	能古島・志賀島	買い物スポット (天神・博多等)
2	コスモススポット (海の中道・能古島等)	能古島・志賀島	映画ロケ地 「君の隣をたべたい」	山笠・博多どんたく	能古島・志賀島
3	山笠・博多どんたく	コスモススポット (海の中道・能古島等)	山笠・博多どんたく	夜景スポット (片江展望台・水上バス等)	もつ鍋・水炊き
4	ピーススポット (シーサイドももち・志賀島等)	菜の花スポット (海の中道・能古島等)	能古島・志賀島	コスモススポット (海の中道・能古島等)	山笠・博多どんたく
5	直行便で行く離島 (対馬・壱岐・五島等)	ムスリムフレンドリー レストラン	夜景スポット (片江展望台・水上バス等)	福岡市動物園	桜スポット (西公園・舞鶴公園等)

5-1 福岡市における国際会議等の状況

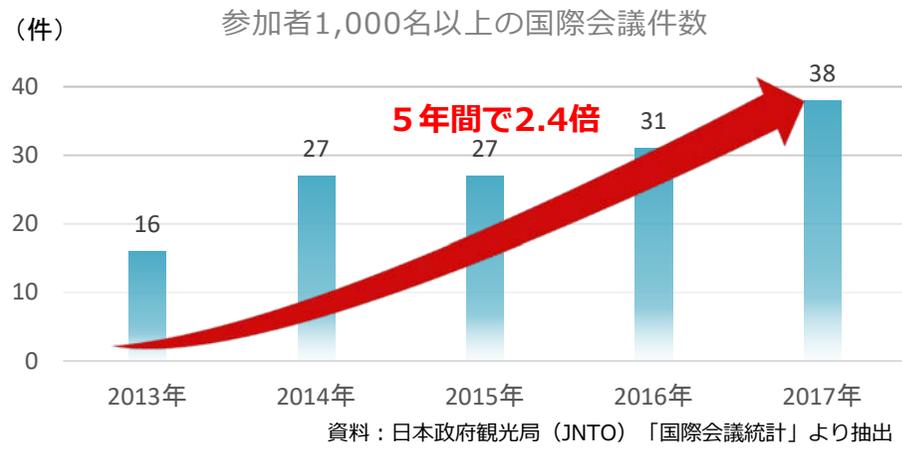
- **国際会議開催件数** **参加者1,000名以上の大規模会議増加傾向**
- **会議開催分野は** ①「科学・技術・自然」②「芸術・文化・教育」③「医学」 **の順に多く、開催場所は 大学 が 129件 (43.6%)**
- **国際会議等開催後には 市内各地への立ち寄り がみられ、大型国際会議時には 外国人観光客による消費が期待 される**



都市別 国際会議の開催状況

(単位：件数)

年	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
2013	東京	福岡	横浜	京都	大阪	名古屋	千里	神戸
	531	253	226	176	172	143	113	93
2014	東京	福岡	京都	横浜	名古屋	大阪	千里	札幌
	543	336	202	200	163	130	106	101
2015	東京	福岡	仙台	京都	横浜	名古屋	大阪	神戸
	557	363	221	218	190	178	139	113
2016	東京	福岡	京都	神戸	名古屋	横浜	大阪	仙台・札幌
	574	383	278	260	203	189	180	115
2017	東京	神戸	京都	福岡	名古屋	横浜	大阪	北九州
	608	405	306	296	183	176	139	134



資料：日本政府観光局（JNTO）国際会議統計

JNTO国際会議統計の選定基準

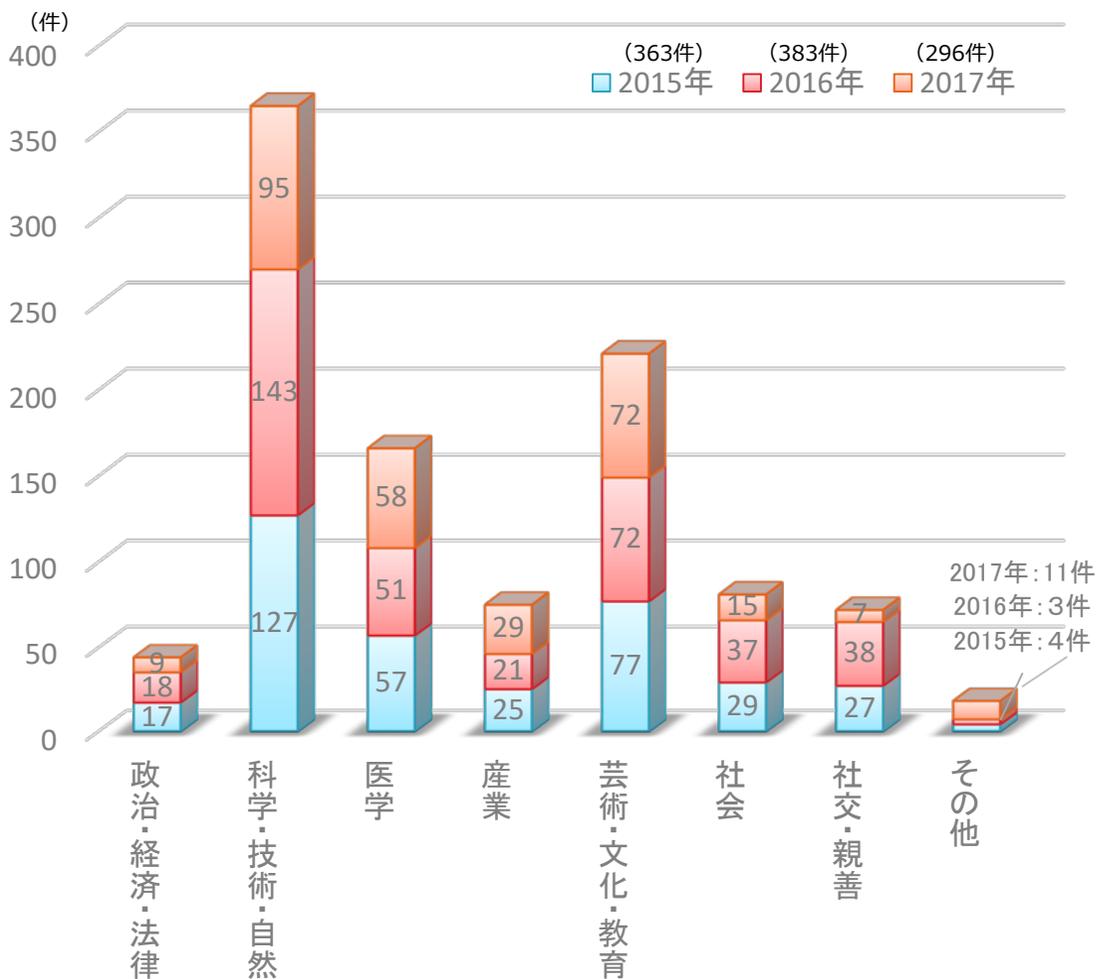
以下の①～④を全て満たす国際会議を「国際会議」とする。

①主催者：「国際機関・国際団体(各国支部を含む)」又は「国家機関・国内団体」
 ※「特定企業の利益を追求することを目的とした会議」の主催者を除く。

②参加者総数：50名以上 ③参加国：日本を含む3カ国以上 ④開催期間：1日以上

5-2 福岡市における国際会議等の状況

分野別開催件数



資料：日本政府観光局（JNTO）「国際会議統計」より抽出

会場別開催件数

	2015年	2016年	2017年
大学	198	210	129
ホテル	51	47	48
WF施設※	32	29	36
その他※	82	97	83

※ WF施設：福岡国際会議場，マリンメッセ福岡，福岡国際センター
福岡サンパレス
※ その他：会議施設やホールなど

資料：日本政府観光局（JNTO）「国際会議統計」より抽出

5-3 福岡市におけるコンベンションの波及効果

既存MICE施設における

- 経済波及効果 (全国) : 約2,000億円
- " (市内) : 約1,400億円

※ 福岡市のコンベンションゾーンにある4施設（マリンメッセ福岡、福岡国際センター、福岡国際会議場、福岡サンパレス）において、平成29年度に開催されたMICEによってもたらされた経済波及効果の推計を行ったもの。

※ 上記とは別に、今後、第2期展示場等の整備により経済波及効果（全国）は約600億円の増加を見込んでいる。

資料：平成30年度 公益財団法人九州経済調査協会による試算

● 事業者の声（国際会議）

● 飲食店調査結果

- ・ 大会期間中の外国人客来店者数：平均123.4人
- ・ 大会期間中の外国人客一人当たりの客単価：平均3,619円

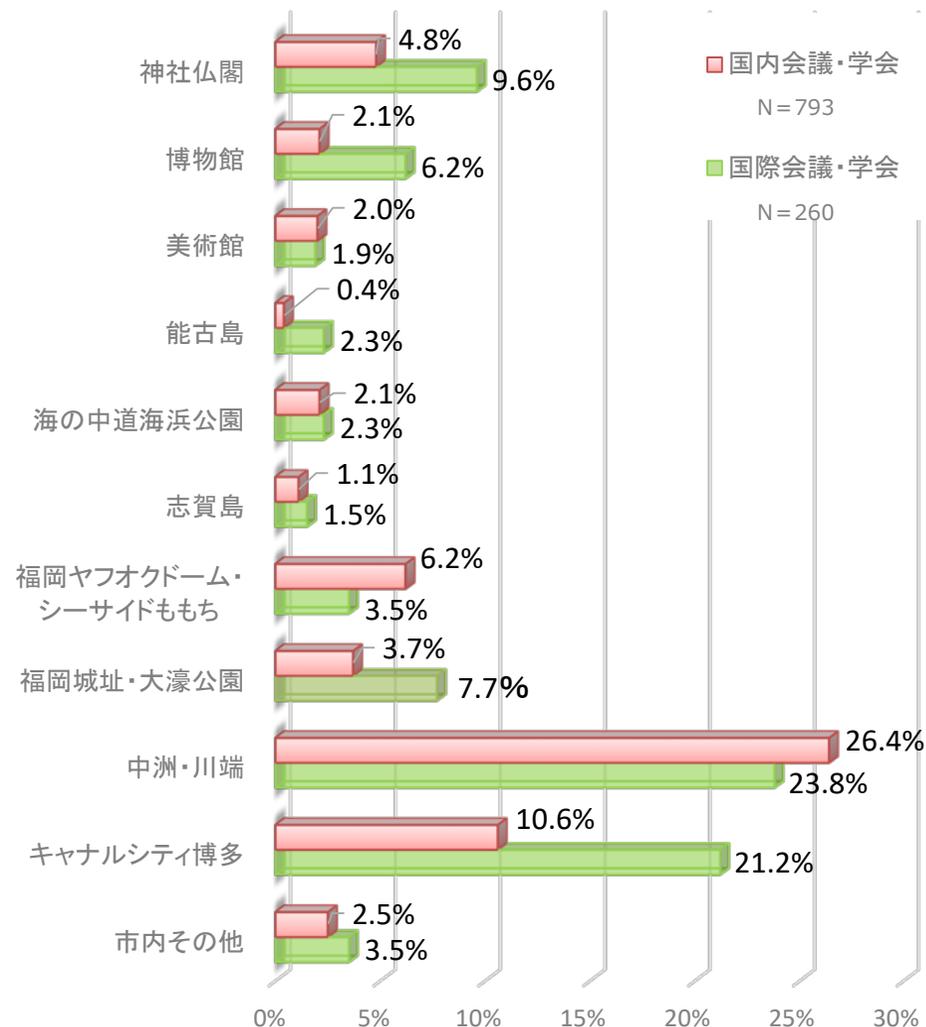
- 外国人向けに特典を用意した商店街において、

「外国人客数が平常時の2倍になった。」
 「毎日10名以上の買上げがあった。」
 「インドの女性団体客によるまとめ買いがあった。」

などの意見があった。

(ライオンズクラブ国際大会における調査結果)
 (2016年6月24日～28日)

催事開催前後の立ち寄り先（2015年調査）



資料：(一財)福岡コンベンションセンター「福岡市のコンベンションゾーンにおける経済波及効果等調査」
 2016年3月

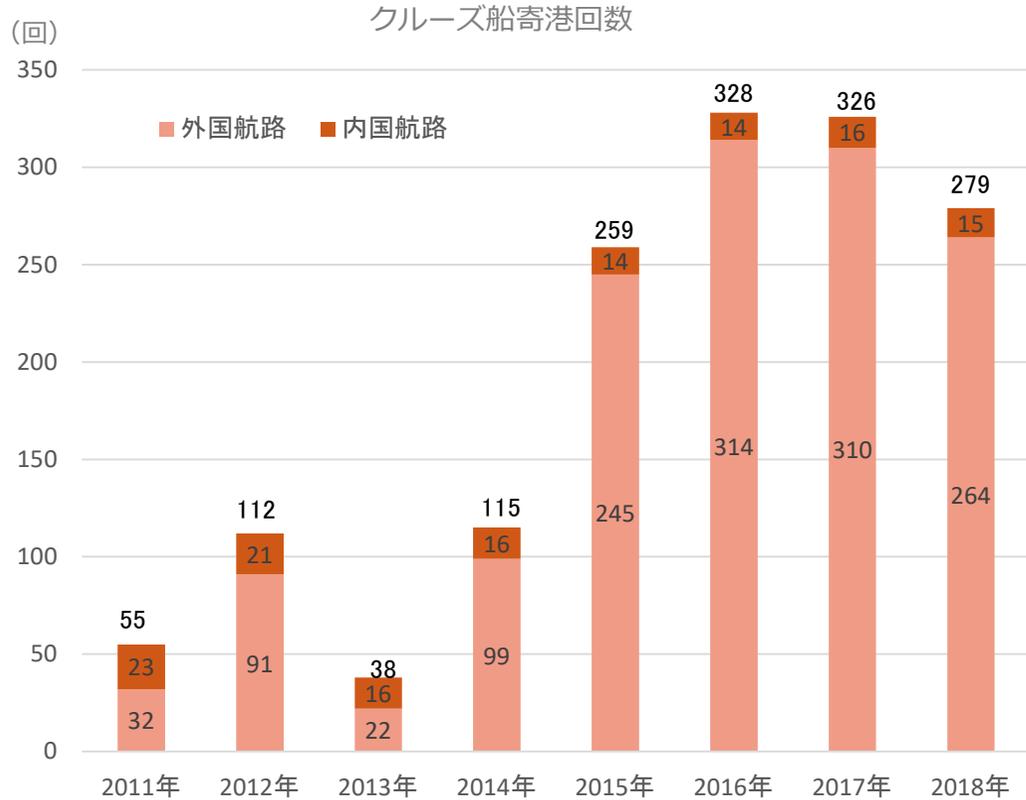
6 福岡市におけるクルーズの状況

- **クルーズ船寄港回数 4年連続日本一**

- ・ 寄港するクルーズ船の大型化が進展

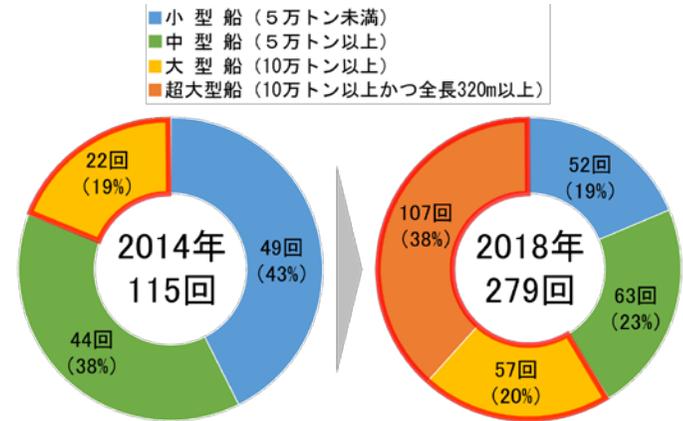
- **寄港地観光ツアーの多様化の働きかけにより、訪問先の分散化が進展**

- ・ 大濠公園、福岡城跡、マリンワールド、櫛田神社、油山牧場、天神、友泉亭公園、筥崎宮、宗像大社、九州国立博物館 等



資料：福岡市港湾空港局

クルーズ船の大型化の進展



クルーズ客のツアー行程 (例)



7-1 宿泊の状況

- 外国人延べ宿泊者数は三大都市圏より地方部の伸びが高い
 - ・ 三大都市圏：1.8倍 2,907万人泊（2014年） → 5,223万人泊（2018年）
 - ・ 地方部：2.3倍 1,575万人泊（2014年） → 3,636万人泊（2018年）
- 福岡市外国人延べ宿泊者数（推計）は地方部の伸び率を超える
 - ・ 2.8倍 120万人泊（2014年） → 337万人泊（2017年）

三大都市圏及び地方部における外国人延べ宿泊者数比較



資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」

福岡市外国人延べ宿泊者数（推計）の推移

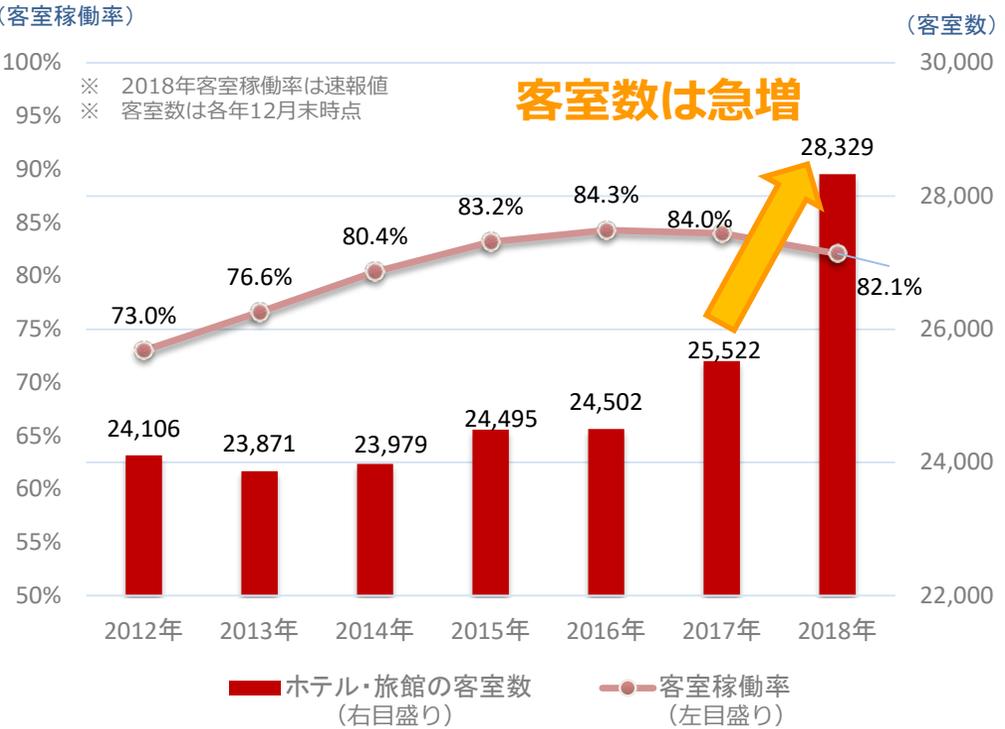


※観光庁「宿泊旅行統計調査」を基に推計

7-2 宿泊の状況

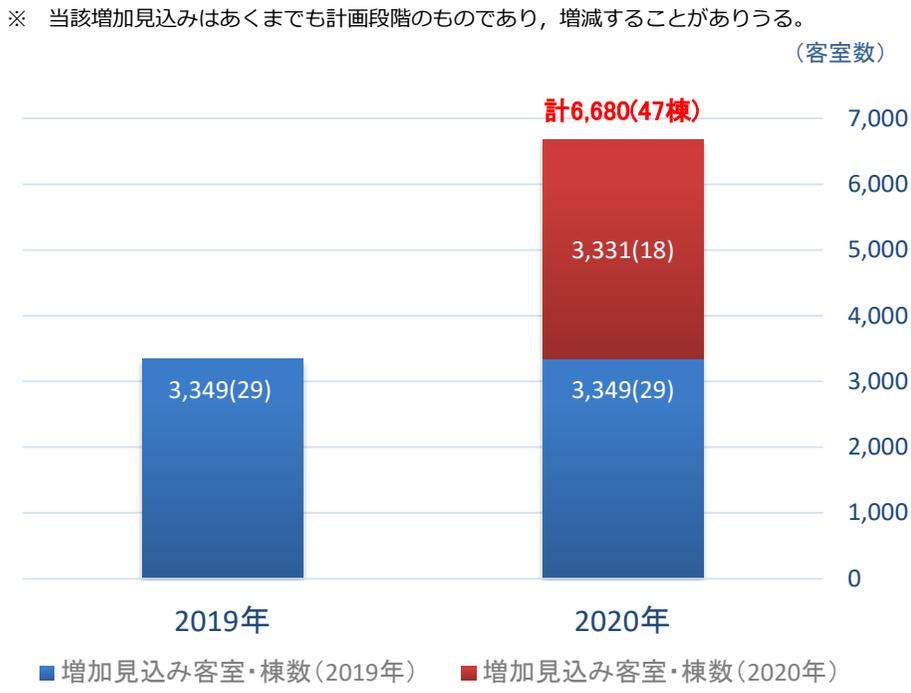
- 福岡市におけるホテル・旅館の客室数は 2018年で **28,329室** (前年から**2,807室**増加)
- 福岡市において, 2019~2020年の間 **計 47棟 6,680室** 増加見込み
- 福岡市における客室稼働率は **5年連続 80%以上** で高水準を維持

福岡市におけるホテル・旅館の客室数及び客室稼働率の推移



資料 (客室稼働率) : 観光庁「宿泊旅行統計調査」
 資料 (客室数) : 「福岡市内旅館施設一覧表」詳細は次頁

今後のホテル増加見込み



※ 当該増加見込みはあくまでも計画段階のものであり, 増減することがありうる。

資料 : 経済観光文化局調べ 2019.3.1現在の見込み

7-3 宿泊の状況（参考データ）

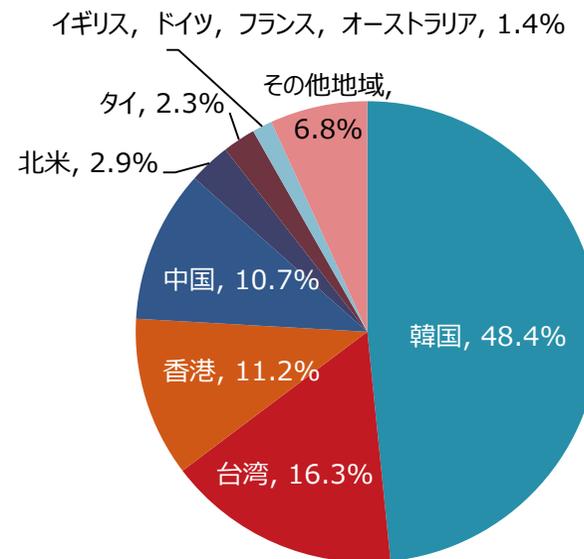
外国人延べ宿泊数(推計値)

(単位:千人)

国・地域	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	
						延べ宿泊数	構成比
韓国	274	285	410	781	1,034	1,630	48.4%
中国	63	60	105	254	323	361	10.7%
香港	38	61	121	238	320	377	11.2%
台湾	155	198	267	424	523	547	16.3%
アメリカ	39	47	51	58	104	84	2.5%
カナダ	3	5	6	11	13	13	0.4%
イギリス	5	6	7	12	19	17	0.5%
ドイツ	5	4	5	5	9	7	0.2%
フランス	3	3	4	7	8	6	0.2%
シンガポール	8	12	24	39	42	43	1.3%
タイ	25	30	70	110	101	78	2.3%
オーストラリア	8	6	9	13	17	16	0.5%
その他	66	90	122	143	198	186	5.5%
外国人計	692	807	1,201	2,095	2,711	3,365	100.0%
対前年比	124.2	116.6	148.8	174.4	129.4	124.1	-

※観光庁の「宿泊旅行統計調査」を基に推計。

福岡市の外国人延べ宿泊客数の国籍別割合（2017年）



資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」を基に推計

宿泊施設数等 (単位:軒, 室, 人)

区分	ホテル・旅館			簡易宿所(2015年から新たに記載)			合計		
	数(軒)	客室数	定員数	数(軒)	客室数	定員数	数(軒)	客室数	定員数
2013年	198	23,871	36,773						
2014年	196	23,979	37,261						
2015年	198	24,495	38,308	43	305	3,355	241	24,800	41,663
2016年	197	24,502	39,022	55	372	3,938	252	24,874	42,960
2017年	208	25,522	41,680	164	849	6,050	372	26,371	47,730
2018年	299	28,329	48,084	250	1,197	7,491	549	29,526	55,575

【参考】
住宅宿泊事業法に基づく
届出数（2019年2月末時点）
668件

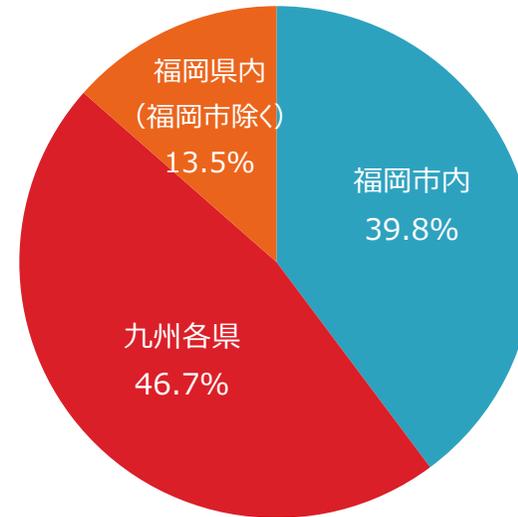
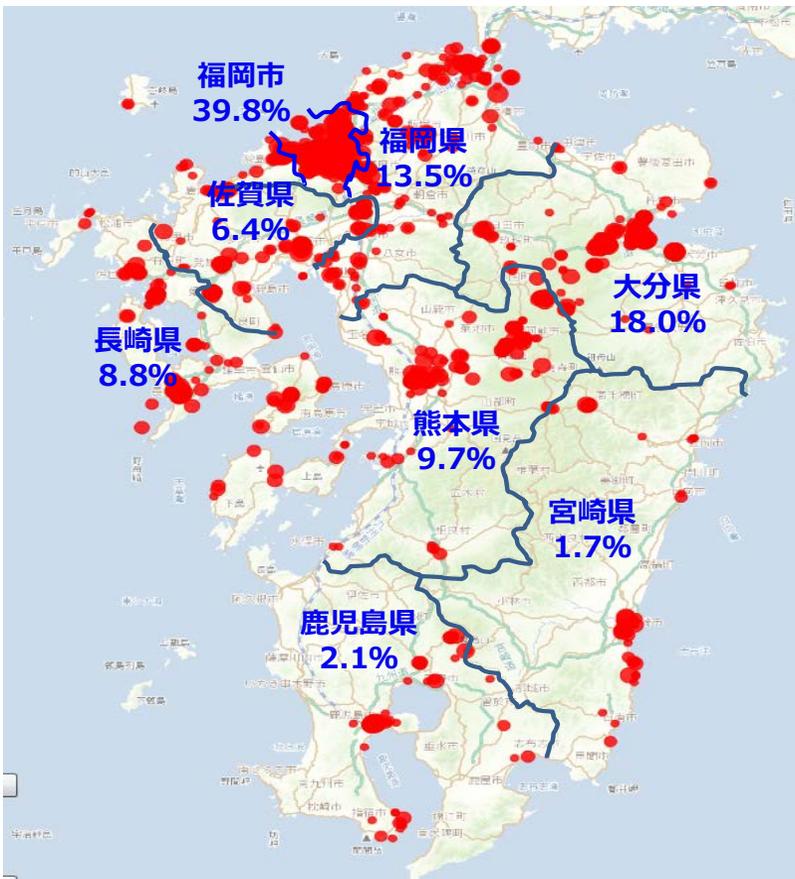
※福岡市が営業を許可している宿泊施設のうち、旅館業法の分類によるホテル・旅館・簡易宿所の集計したもの(資料:「福岡市内旅館施設一覧表」)
なお、下宿営業、社員寮や保養所、風俗関連営業を除いた施設を対象。ただし、社員寮・保養所のうち一般客受入のある施設は、ホテル・旅館に含めている。
2015年より、新たに簡易宿所についても記載。

資料：「福岡市内旅館施設一覧表」

7-4 宿泊の状況 ～市内宿泊者の動態調査～

- 福岡市内宿泊者が福岡県内を訪問・滞在した割合 **13.5%**
- 福岡市内宿泊者が九州各県（福岡県を除く）を訪問・滞在した割合 **46.7%**
- 福岡市内宿泊者が福岡市内を訪問・滞在した割合 **39.8%**

福岡市内宿泊者の九州における訪問・滞在の割合（サンプル数：13,640人） 調査期間：2016年4月～2018年9月



○株式会社NTTアドが、観光アプリ“Japan Travel Guide”のGPS（緯度・経度位置情報）データをもとに分析し提供
○福岡市内宿泊者の、九州各地における訪問・滞在時間を数値化し割合として示したもの

【参考】Wi-Fiの接続履歴による福岡市内宿泊者の動態

福岡市内宿泊者（2017年10月～2018年9月）				301,184人	100.0%
接続ポイント		説明			
福岡市	福岡県		福岡県内を回遊	40,760人	13.5%
福岡市	福岡県	九州各県	福岡県内と九州各県を回遊	18,933人	6.3%
福岡市		九州各県	九州各県を回遊	53,353人	17.7%
福岡市			福岡市内のみ回遊	188,138人	62.5%

データ提供：株式会社NTT B P

株式会社NTTBPが、フリーWi-Fiの接続・認証履歴データをもとに分析し提供

8-1 福岡市における入込観光客数の推移

● 入込観光客数（推計） **2,000万人超を更新！**

6年連続で過去最高！

入込観光客数（推計）の推移



8-2 市内の主要な観光施設の入込状況

主要観光施設入込状況

2013年		2014年		2015年		2016年		2017年	
施設名	人数								
JR博多シティ	46,990,000	JR博多シティ	48,430,000	JR博多シティ	48,560,000	JR博多シティ	69,797,000	JR博多シティ	72,032,000
* キャナルシティ博多	14,600,000	* キャナルシティ博多	15,300,000	* キャナルシティ博多	16,480,000	* キャナルシティ博多	16,380,000	キャナルシティ博多	17,000,000
* マリノアシティ福岡	6,190,000	* マリノアシティ福岡	6,000,000	* マリノアシティ福岡	6,000,000	* マリノアシティ福岡	5,700,000	* マリノアシティ福岡	5,300,000
ヤフオクドーム	3,086,996	博多リパレイン (イニミニマニモ)	3,396,000	博多リパレイン (イニミニマニモ)	3,669,000	博多リパレイン(イニミニ マニモ)	3,675,000	博多リパレイン(イニミニ マニモ)	3,736,000
博多リパレイン (イニミニマニモ)	2,460,000	ヤフオクドーム	3,158,774	ヤフオクドーム	3,168,462	福岡ヤフオク!ドーム	3,096,961	福岡ヤフオク!ドーム	3,326,521
ベイサイドプレイス 博多	2,230,000	ベイサイドプレイス 博多	2,165,000	ベイサイドプレイス 博多	2,206,000	ベイサイドプレイス博多	2,201,000	ベイサイドプレイス博多	2,250,000
福岡タワー	1,157,576	福岡タワー	1,222,860	福岡タワー	1,510,203	福岡タワー	1,846,826	福岡タワー	2,015,799
海の中道海浜公園	1,036,256	海の中道海浜公園	1,024,921	海の中道海浜公園	1,137,081	マリゾン	1,122,437	マリゾン	1,150,788
福岡市動植物園	912,640	福岡市動植物園	1,020,565	福岡市動植物園	940,646	海の中道海浜公園	1,076,303	海の中道海浜公園	1,085,358
マリゾン	785,943	マリゾン	831,148	マリゾン	937,618	福岡市動植物園	808,003	マリンワールド海の中 道	909,845

※ 各施設へ照会を行ったものであり、カウント方法は施設毎に異なる。

* キャナルシティ博多の人数は2016年まで年度集計(4月1日から3月31日まで)。

* マリノアシティ福岡の2017年の人数は2016年11月1日から2017年10月31日まで。

9 福岡市の観光消費額と経済波及効果

● 観光消費額（2017年推計）

- ・ 5年間で **1.48倍** 3,357億円(2013年) → 4,983億円 (2017年)
- ・ 前年比 **約10%UP**

観光消費額の推移



観光による経済効果（2010年試算値等）

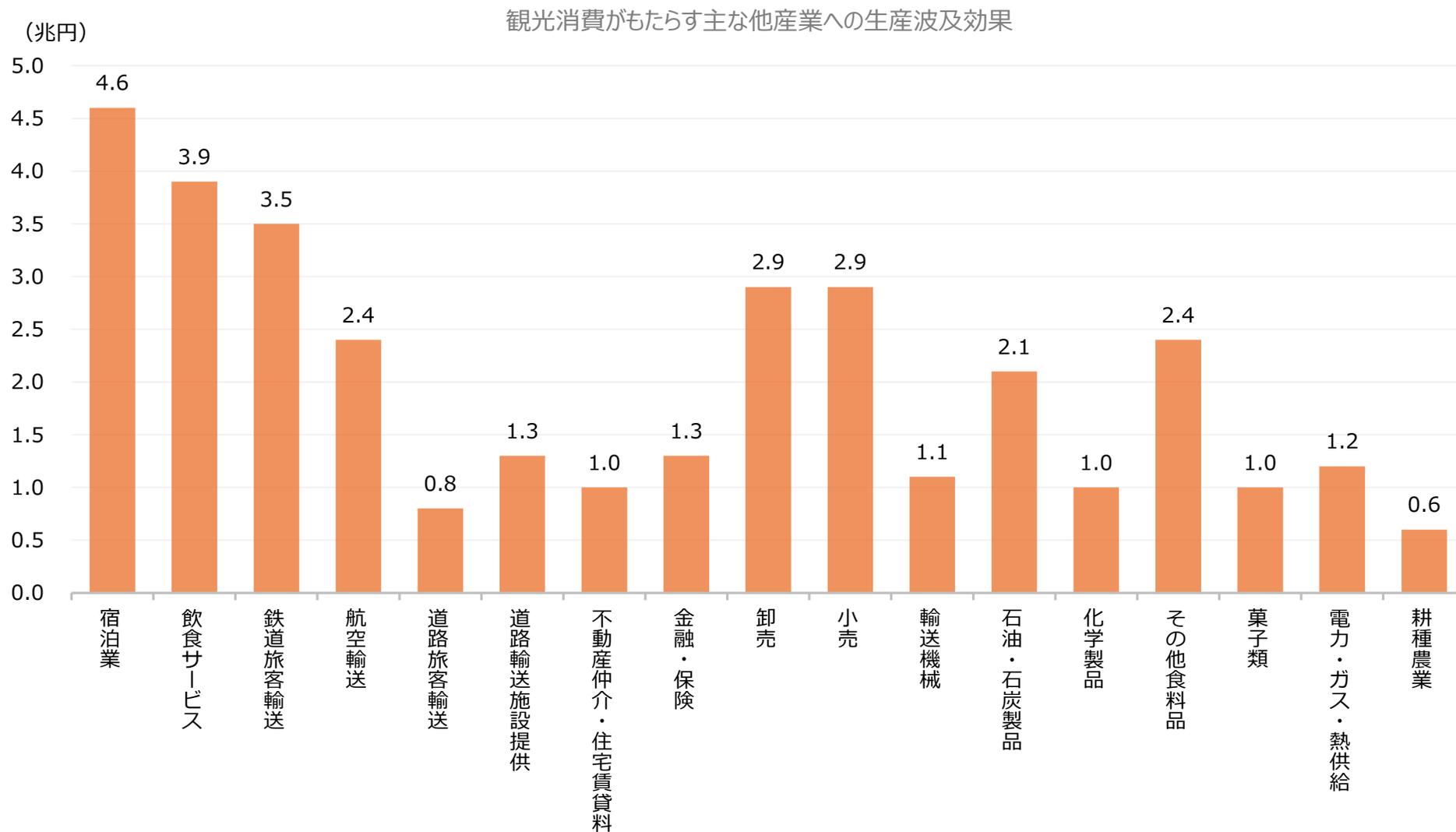
	観光消費額	経済波及効果	雇用効果	税収効果
2010年	3,213億円	4,680億円※1	3.3万人	51.2億円
2017年	4,983億円	5,670億円※2	増加	増加

※1 資料：福岡観光・集客戦略2013

※2 2011年産業連関表を使用。観光客の消費構成を下記の資料から推計したものの。

国内観光客の消費構成：観光庁「旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究」
 訪日外国人の消費構成：観光庁「旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究」
 経済産業省、内閣官房(まち・ひと・しごと創生本部事務局)
 「地域経済分析システム (RESAS)」外国人消費の構造

【参考-1】 観光消費がもたらす他産業への経済波及効果（全国ベースによる考察）



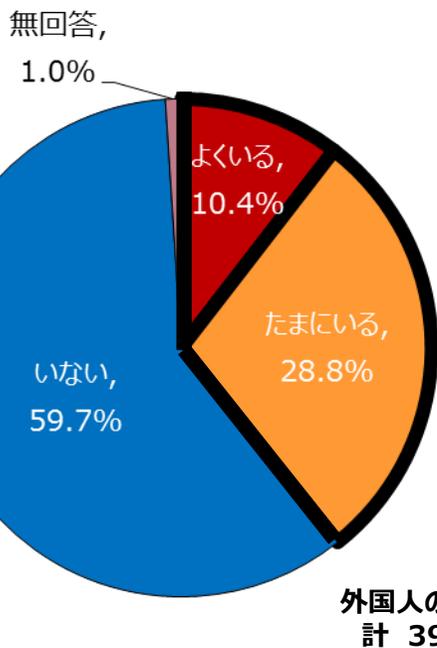
資料：観光庁「旅行・観光産業の経済効果に関する調査研究」（2018年3月）

※2016年の観光消費額26.4兆円、生産波及効果53.8兆円の場合の主な他産業への波及効果

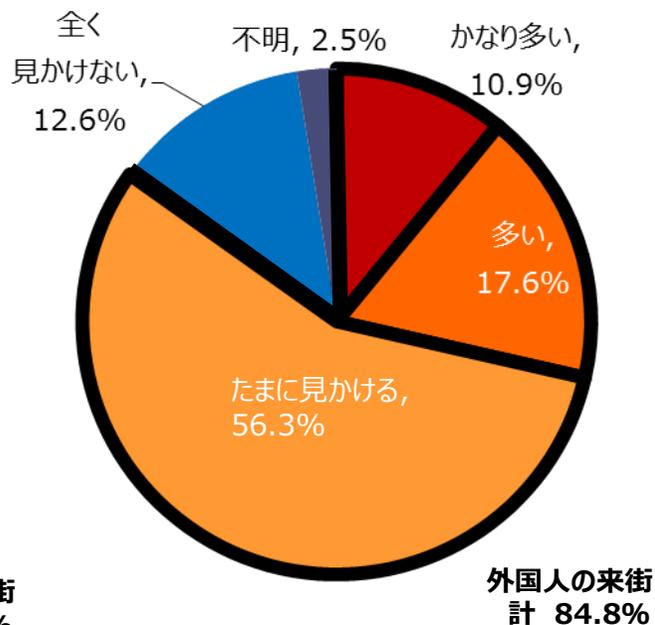
【参考-2】 商店街を訪れる外国人の状況（全国比較による考察）

- 福岡市内の商店街は、全国と比較して、外国人の来街状況は多い
- 外国人客の購入品は「飲食店の利用」, 「菓子類」, 「医薬品・健康グッズ」など
- 市内の商店街による、外国人旅行者をターゲットとした取組み例（検討中のものを含む）
 - ・ Wi-Fi（インターネット環境の整備）, ホームページの多言語化, 街内案内板・サインの設置

全国の商店街の外国人来街状況



福岡市内の商店街の外国人来街状況



【平成29年度福岡市商店街実態調査】

- 市内商店街の約2割が外国人旅行者をターゲットとした取組みを実施（市内商店街は127団体（連合会組織を除く））
- 主な取組み内容（実施・検討中の31商店街について）
 - Wi-Fi（インターネット環境の整備）（54.8%）
 - ホームページの多言語化（45.2%）
 - 街内案内板・サインの設置（38.7%）
 - 商店街マップ・小冊子の多言語化（38.7%）
 - 多言語によるメニューやPOP表示（38.7%）
 - 決済端末の導入（25.8%）
 - 情報発信ツール（アプリ等）の整備（22.6%）

資料：中小企業庁「平成28年度商店街インバウンド実態調査」

資料：平成29年度福岡市商店街実態調査